

平成 23 年度修習技術者のための 講演会/歓迎会報告

中国本部修習技術者支援委員会

委員長 亀田 雄二

広島県 建設部門



平成 24 年 2 月 11 日(土)、広島グランドインテリジェントホテルにて、平成 23 年度の技術士第一次試験に合格された皆様と JABEE 認定課程をまもなく終了される皆様を対象とする「平成 23 年度修習技術者のための講演会/歓迎会」を開催しましたので、ご報告します。

当日は、合格者の皆様を祝うにふさわしい春を思わせる日差しの温かい日でした。

参加者は、一次試験合格者 12 名と JABEE 課程修了者 1 名(修了予定者ではなく、既に修了して就職しておられる方でした)、37 名の技術士と先輩修習技術者の総勢 50 名でした。

今回、直前に JABEE 修了予定者への案内も必要だということに気づき、既知の先生を通じて JABEE 認定校へも案内致しました。結果的に参加者は 0 でした。これは時期的に修了予定者が多忙な時期であったこと、もう少し早目に案内すべきであったことが原因であると考えます。先生方も案内自体については、継続を望んでおられるということをお聞きしておりますので、来年度は開催時期、開催規模を含めて、本講演会/歓迎会を見直して行きたいと思います。

1. 祝辞

中国本部の近藤本部長より、ご祝辞を頂きました。今年は合格率が低く、特に難関を乗り越えて合格された皆様ということで、引き続き早目の技術士取得に向けて頑張ってくださいという趣旨のものであったと思います。

2. 挨拶

私が挨拶をさせて頂きました。挨拶の趣旨は、「本日参加の皆様の目下の目標の一つは、『技術士なる』ということだと思っておりますので、本日を技術士になるための資質を身につける

『きっかけ』としてください」というものでした。

3. 特別講演 14:40~16:00

統括本部修習技術者支援実行委員会の榊委員長より、「技術士を目指して-修習技術者へのエール-」と題するご講演をいただきました。内容は、

- ・技術士の定義
- ・技術士への道 (3つの経路)
- ・技術士試験について
- ・技術士になるためには
- ・修習技術者支援実行委員会の役割
- ・修習技術者研修プログラム

で、最後に、

- ・技術士制度は技術者としての継続研鑽の格好の場 (IPD, CPD)
- ・技術士試験制度を通じて (高いハードルを越えて) 技術者としての資質が磨かれる
- ・全ての技術者が技術士をめざしてほしい
- ・多くの技術者が技術士となり社会貢献してほしい
- ・皆様、早く技術士になってくださいと、まとめて頂きました。

4. 日本技術士会及び中国本部の紹介

私から日本技術士会と中国本部について、HP と入会方法、活動の内容 (特に修習技術者へお勧めの青年技術士交流委員会と修習セミナー) を紹介しました。

5. パネルディスカッション 16:30~18:15

今回は、「技術士の働く (活躍する) 姿~技術士会に関わる前後の変化~」と題して、青年技術士交流委員会の高木委員長にコーディネートをお願いし、以下の 4 名のパネラーとディスカッションを展開しました。

双和祥二氏 修習技術者（機械部門）

今年度から青年技術士交流委員会に参加頂き、イベント企画の中心人物として活躍頂いた。また1月に結婚式を挙げられるなど、お忙し中での青年技術士交流会活動の意義「生涯スポーツとしての野球、生涯学習としての技術士会」について熱く語って頂きました。

藤岡章氏 技術士（農業部門）

岡山で活躍する技術士。技術士になった前後の変化として、性悪説から「人は弱いものである。簡単に不正ができて、露見する可能性が低いと出来心が芽生える。また、自生することは難しい」という性弱説への変化を挙げられ、「高い倫理観を維持し、周りに良い影響を与えたい」との技術士としての意気込みを語って頂きました。

井尻敦氏 技術士（電気電子部門）

島根県在住の井尻氏は、「周りに電気電子部門の技術士が少なく、一緒に勉強をする同僚もいない中で、一次試験合格者歓迎会に参加し、技術士会に入会したことが、二次試験勉強へのモチベーション維持につながった。また、技術士取得が大いに社内外へのアピールとなった」と、技術士会入会を推奨して下さいました。

森保直也氏 技術士（建設部門）

一級建築士であり、独立開業されている森保氏の切り口は「技術士会は投資先として妥当か？」というもので、「技術士を目指すことは、技術者の投資先としてユニーク。技術士会は、投資先としては成長過程にある。ただ、皆さんの投資に応えらてる可能性は秘めていると思う。魅力的な投資先になるかは、皆さん次第」とまとめて頂いた。

その後、高木氏とパネラーで、

- ・資格の必要性
 - ・社外活動の必要性
 - ・技術士会活動の魅力・活用方法
- についてディスカッションを行い、
- ・技術者には、様々な能力（コミュニケーション、プレゼン、ドキュメン）が求められ、常に視野を広く持ち、資質向上に努めていく必要がある。
 - ・いろいろな能力を向上できる技術士会活動（専門部会、修習セミナー、青技交）を活用してはどうか。
 - ・技術士会活動は仕事ではなくボランティアな活動であるため、自分たちで企画しながら創り上げていく楽しさがある。
- とまとめて頂きました。

6. 歓迎会 18:30～20:00

歓迎会になれば、皆さん、思う存分コミュニケーションし、本会の目的である「きっかけ」づくりに励みました。もちろん1時間半では時間が足りようはずもなく、長い夜を予感させながらの終会となった次第です。

7. 最後に

本会の運営に当たりましては、修習技術者支援委員会のスタッフの皆様、合格者歓迎のためにお集まり頂きました技術士、先輩修習技術者の皆様のご協力を賜りました。ご協力、本当にありがとうございました。

今回も技術者として一緒に勉強する仲間を得る良いきっかけになったと思っています。さらに皆様のご期待に応えられる企画運営を目指していきますので、皆様にはご指導ご鞭撻の程、今後とも宜しく願いいたします。

▼写真：合格者、講師、パネラー他▼

